ライオンズクラブ国際協会
330-A地区 第52回年次大会

議 事 録

2006年4月22日（金）

会 場

東京プリンスホテル・鳳凰の間

代議員総会・議事要録

(午前 10 時開会)

1. 開会宣言

司会の大会幹事 L 西村泰一（以下、「司会者」と表示する）より本日司会進行を担当する旨の自己紹介があり、定刻となったので開会宣言を 330-A 地区ガバナー L 中村保彦にお願いする旨の紹介があった。

紹介を受け、330-A 地区ガバナー L 中村保彦より第 52 回年次大会代議員総会の開会宣言が為された。

2. 議長挨拶

司会者より、議案集 2 頁の「第 52 回年次大会第・議事規則」第 3 項により、L 中村保彦ガバナーが議長に、L 森山勇副地区ガバナーが副議長に就任する旨紹介が為された。

大会議長 L 中村保彦（以下、「議長」と表示する）より、以下のとおり挨拶が為された。

(大会議長の挨拶)

おはようございます。

早朝よりのご参集誠に有難うございます。

代議員会開会にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

「光陰 矢の如し」

本当に早いもので、昨年 4 月同じこの東京プリンスホテルで次期ガバナーとしてのご信任をいただき、7 月香港国際大会で山浦晟暉ガバナーよりガバナーエレクトのリボンを外していただいたのがまるで昨日のように感じます。

今日、新しい年度の重要事項を決定していただき、更に英知溢れるメンバー各位のシンポジウムによりライオンズクラブの近未来像を構築する意義ある代議員会になりますようご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 議長より各正副委員長ならびに顧問紹介

議長より、代議員会における各委員会・分科会の正副委員長及び顧問の方々
は、議案集 6 頁から 8 頁に記載のとおりであるとの紹介が為された。

4. 次期地区ガバナー候補者紹介

議長より、次期地区ガバナー立候補者は立川ライオンズクラブ所属 L 森山
勇であり、L 森山勇の経歴については議案集 18 頁に記載されているとおりで
ある旨紹介が為された。

5. 次期副地区ガバナー候補者紹介

議長より、次期副地区ガバナー候補者は東京荒川ライオンズクラブ所属 L 飯
田善彦、東京みやこライオンズクラブ所属 L 河合悦子の 2 名であり、L 飯田善
彦の経歴については議案集 19 頁、L 河合悦子の経歴については議案集 20 頁に
記載されているとおりであるとの紹介が為された。

6. 資格審査委員長より資格審査結果の発表

資格審査委員長 L 梶原正和より、第 52 回年次大会の代議員数は現・前・元
地区ガバナーを含め議案集掲載の 561 名に 6 名の追加・変更があり 567 名であ
ること、本日 9 時 50 分迄に登録を済ませた代議員は 525 名であり、全員の資
格を確認し、有資格者であることを認めた旨の報告が為された。

7. 次期地区ガバナー選出

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 大谷内市五郎より、2006
年～2007 年度 330-A 地区ガバナー候補者は立川ライオンズクラブ所属 L
森山勇 1 名であり、議案集 3 頁記載「330-A 地区第 52 回年次大会議事規
則」第 10 項(1)(ハ)の「候補者が 1 名のときは、(イ)、(ロ)の趣旨に則ることを
条件に、別の方法によることができる。」との規定により、「別の方法」を地
区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会の指名と代議員の拍手に依るこ
とにつき大会議長より出席代議員に諮るよう要請が為された。

これを受け、議長より次期地区ガバナー選出方法を「別の方法」である地区

ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会の指名と出席代議員の拍手に依る選出方法にすることについて代議員の承認を求めたところ、賛成多数により承認された。

以上の承認を受け、地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会は 2006～2007 年度 330-A 地区ガバナー候補者である立川ライオンズクラブ所属 L 森山勇を次期地区ガバナーに指名することが地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 大谷内市五郎から発表された。

この指名を受け、議長が、立川ライオンズクラブ所属の L 森山勇を次期地区ガバナーとすることの承認を皆に求めたところ満場一致の拍手があり、承認された。

議長より、2006 年～2007 年度 330-A 地区ガバナーは立川ライオンズクラブ所属の L 森山勇が満場一致にて選出されたことが報告され、森山ガバナーエレクトが起立し、代議員の拍手を受けた。

8. 次期副地区ガバナーの選出方法の説明

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 大谷内市五郎より、次期副地区ガバナー立候補者は東京荒川ライオンズクラブ所属 L 飯田善彦と東京みやこライオンズクラブ所属 L 河合悦子の 2 名であり、「330-A 地区第 52 回年次大会議事規則」第 10 項の(2)に従い、次期副地区ガバナーの選出を選挙によって執り行う旨説明が為された。

尚、次期副地区ガバナー立候補者 2 名の資格審査については、2006 年 2 月 23 日地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙管理委員会により審査が行なわれ、L 飯田善彦候補者及び L 河合悦子候補者共に適格であるとの審査結果が報告された。

又、年次大会数日前、ある候補者の立候補資格が無いかの様な趣旨の東京大手町ライオンズクラブ名義の手紙が郵送された件について、調査の結果、東京大手町ライオンズクラブより発送されたものではなく出所不明の文章であることが判明したので、東京大手町ライオンズクラブの名誉の為にこの件も附加して報告が為された。

続いて、「2006～2007 年度 副地区ガバナー選出のための代議員会におけ

る選挙に関する事項」第5項(ロ)により、立候補者の抽選順に従い立候補者、推薦者合計10分の制限時間内で所信を述べていただきたい旨の注意が為された。

9. 次期副地区ガバナー候補者所信表明（立会演説会）

司会者より、事前に行なわれた抽選順によりまず東京荒川ライオンズクラブ所属のL飯田善彦候補者の所信表明が行なわれる旨報告が為された。

L飯田善彦候補者の推薦者L小林清三郎の推薦の言葉は以下のとおりである。

（推薦者L小林清三郎）

代議員さん、おはようございます。

私は東京荒川西ライオンズクラブのL小林清三郎でございます。副地区ガバナー候補の飯田ライオンの推薦の弁を一言述べさせていただきます。

私は皆さんに2つのこととお話させていただきたい。1つは、今日皆さんが1票ずつ投票されるその選挙によって何が選ばれるのかという事であります。副地区ガバナー・・・解ってるじゃないか・・・おっしゃられると思います。それはそのとおりです。しかし今、森山副地区ガバナーが皆さんに承認されたように、1年後にはこの330-A地区東京の地区ガバナーになられることがほぼ予定されている訳であります。

ここで大切なことはこの330-A地区が東京を中心としていることでもあります。東京は日本の首都であります。国際的な組織でありますライオンズクラブ、表から見れば330-A地区は日本の顔であり、まさにわれわれ先輩が華の330と言う言葉をよく使う事があるように、まさに日本を代表としたライオンズのトップリーダーとして活躍いただくようなそういう人を今日の皆様の1票1票によって選ぶということ、まさにそれは副地区ガバナー以上の大変重要な選挙であろうということでもあります。2年間の任期の間を終わりましたらここにいらっしゃる元ガバナーの様に職責を超えまして長い間我々の地区の為に日本の為にそのライオンズの為に活躍いただくと長い意味での役割を果たさなくてはならないその為の選挙が今日の選挙だろうと私は考えるのであります。その為にこのような者が選ばれるべく長い期間職責を果たすための強い意思が

必要であろう、ライオニズムについて熱い情熱が必要であろう、複雑な社会に対応できるアクティビティに果敢に挑戦できるような行動力が必要であろう、長丁場を堪えられる若さが必要ではないか。そうしたときに私は飯田ライオンを推薦する次第であります。

2 番目に皆さんにお話したいのは我々ライオンズクラブの命と言うべきアクティビティに関してであります。今から 70 数年前アメリカのイリノイ州、交通頻繁な町に佇む目の不自由な人がいました。その町のライオンズのメンバーがそれを目撃して、もし彼が自分が目が不自由であることを他の人に知らせることができたら手助けしてあげたろう、ドライバーは運転に気を使っただろう、何かできないか、そこから 1 本の杖の運動が始まりました。世界中に広がり今では白い杖は我々ライオンズクラブの先輩が行った誇るべきアクティビティのひとつとして皆さん承知していると思います。

今から 25、6 年前に東京のあるライオンズクラブの若いメンバー、彼の妹は脳に障害がありました。一人で表に出られない。妹思いの兄はいつも妹の為のアッシー君をしていました。自分はこうやってできる、しかし、もっと他人にもこういう手助けが必要な人がいるのではないか、そう思った彼は障害者の為だけのバスを運行する福祉バスを始めたのです。今ではその事業は首都圏を中心に 250 台になるような障害者だけを運ぶバス事業として障害者に大変喜ばれています。その事業を始めた男、それが若き日の飯田ライオンでございます。

1 本の白い杖からこの精神が今やこの東京を中心とした所に福祉バスという形で社会のニーズに果敢に、敏感に応えようとする精神の持ち主こそ我々のライオンズクラブのリーダーとして迎えられるにふさわしい人間ではないか、私はそう信じております。後程皆さんが 1 票を入れるときにそれぞれクラブでご活躍する中で、皆さんが体得されたライオニズムそれはなんだろうという事を是非とももう一度お考えいただきながら 1 票を投じていただきたい、こうお願いする次第であります。ここで私の推薦の弁は終らせていただきます。本人にバトタッチいたします。どうもありがとうございました。

立候補者 L 飯田善彦の所信表明演説は以下のとおりである。

(立候補者 L 飯田善彦)

東京荒川ライオンズクラブ所属の L 飯田善彦でございます。過分なるお話を拝しまして恐縮いたしております。

私は東京荒川ライオンズクラブに入会して 28 年、多くのすばらしい先輩に奉仕に対する熱き思いを教えていただき、障害者の人たちに対し何かできることはないかと言うことで現在の会社を起ち上げたしだいでございます。

330-A 地区の現況は過去に約 1 万人いらしたのが 1 クラブに対し 50 人以上であったのが現在 207 クラブ 5,500 人 1 クラブ平均 26 人、半分に激減しております。このままで宜しいのでしょうか。各クラブは会員増強、会員の維持に苦慮いたしておりますが減少傾向は一向に止まりません。これ以上減少すればアクティビティそのものができなくなる。奉仕団体として存在する価値すら無くなってしまわないでしょうか。

私はこの現況を脱し、かつての華の 330 をめざし 14R8 クラブ全クラブの推薦により国際基準を満たし立候補させていただきました。ライオンズクラブに何故入ったのかを振り返っていただき、奉仕活動から得る感動を 330-A 地区の隅々まで今一度照らしていきたい。そしてライオンズクラブのみならず社会一般にライオンズクラブはこのように立派な奉仕活動をしているんだという事を PR していきたいと思っております。その基本理念を持ち、所信表明にキャビネットに 5 つの改革を掲げさせていただきました。時間の関係でその内 2 点だけ触れさせていただきます。

第 1 点は組織の改革でございます。キャビネットとはキャビネット役員の役員の為にあるのではなく、クラブメンバーの為にあるのではないのでしょうか。クラブとキャビネットの距離を縮め、1 メンバーが直接キャビネットに対して質問ができるような制度を作りたいと思っております。それにはホームページの立ち上げが必要です。ホームページの立ち上げができない場合はキャビネットでの立ち上げのお手伝いをしていきたいと思っております。

第 2 はクラブの活性化を目指し全クラブで行っているすばらしい奉仕活動を集約しアクティビティブックの作成をしたいと思っております。そしてアクティビティブックが各クラブの奉仕に対する模範となるようにしていきたいと思っております。少数クラブに関しましては、合同アクティビティの参考にしていただければと思っております。一筋の光を求めて苦しむ人に対しライオンズの

明るい灯りを照らしていこうではありませんか。

ライオンズが何か特別なものとしてではなく、ごく普通の当たり前のものとして社会に浸透していくよう努力していきます。私は若輩ではございますが皆さん方の力をお借りしてメンバーに魅力あるクラブづくり、魅力あるキャビネットづくりをしたいと存じます。代議員の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

司会者より、東京みやこライオンズクラブ所属のL河合悦子候補者の所信表明が行なわれる旨報告が為された。

立候補者L河合悦子の所信表明演説は以下のとおりである。

(立候補者 L 河合悦子)

皆様おはようございます。私は東京みやこライオンズクラブ所属の河合悦子でございます。

私は1984年関東ライオネスクラブに入会し、1988年櫻ライオンズクラブ誕生と共にチャーターメンバーとなりました。今年でライオン歴は22年目になります。この間私はクラブそしてキャビネットで沢山の役職を務めさせていただきました。ですけれども様々な体験もいたしました。自分の不徳のいたす上に混乱を招いたこともございます。でも、体験の中で反省すべきものは反省し、そして又多くの事を学ぶ事ができました。その後も自らを研鑽しそして努力をしまして私はその奉仕に対する強い思い、そしてライオンズクラブに対する熱い思いを失わずに今日までまいりました。奉仕というのはしてあげるのではなくてさせていただくのだと言う感謝の気持ちは、この体験の中で自らの心の中にしっかりと根付いております。そして今、その感謝の気持ちをこのような立場にご支援いただき立たせていただいた皆様にも心から感謝の気持ちを捧げたいと思っております。

私の所信について述べさせていただきます。

まず、青少年健全育成です。これは、私が一番深く関わってきた部分です。殆どのクラブでこのアクティビティは取り上げられておりますので、私は心と体両面での健全育成を目指し、各クラブアクティビティを推進・支援してまいり

たいと思います。青少年の心が伸びやかなものとなって時には放たれ、そして豊かな発想、豊かな個性を育てるように私はそれを支援してまいりたいと思います。ライオンズ独自の企画を立てて推進してまいりたいと思います。

キャビネット運営については次のように考えております。まず、皆様のご理解をいただくことから始めるべきだと思います。あらゆる情報手段を用いまして、解りやすいキャビネットの運営を促進いたします。開かれたキャビネットの運営を目指しまして、各種会議に各クラブからの傍聴制度を設けたいと思います。そしてメンバーの皆様のコンセンサスに基づいた組織作りに努力したいと思います。

会員数の減少と共に自クラブのアクティビティが難しくなっているクラブもあるかと思っております。そういうクラブに対しましては合同アクティビティの推進を進めたいと思います。それによってクラブの相互理解、ゾーンの相互理解、そして又連携にも繋がると思うからです。

次に退会防止・会員増強についての考えを述べさせていただきます。若手会員・女性会員に積極的に活躍の場を提供したいと思っております。特に若手会員に関しましては、人材登用を私の視野に大きく入れております。いずれ国際会長までにいたる方が育ってくれたら良いかなと私は思っております。それからクラブにはやはりキャリアのあるメンバーもいらっしゃいます。若手会員・女性会員そのキャリアのある方たちとの融和を計るお手伝いをいたしたいと思っております。それは楽しいクラブライフ、そして奉仕活動の実感その両輪のバランスよい回転こそ退会防止・会員増強に繋がると思うからです。

以上私の溢れる様な思い、十分にマニフェストをお伝えできないのはとても残念なではございますが、私のマニフェストにつきましては先般葉書にてお送り申し上げます。一度お目通しをいただければ幸いです。私は平和を愛する女性として選挙を望んではおりませんでした。しかし、結局このようになってしまいました事をととても心から残念に思っております。今回の選挙につきまして私はクリーンな心情を根として実行してまいりました。こういう私の姿勢が私のライオンズクラブに対する姿勢として皆様の心に届くことができたら良いのにと思っております。330-A地区に女性の感性と情熱と夢をのせて私は新しい爽やかな1ページを開きたいと心から願っております。

リーダーとして求められるものは何でしょうか。その資質は何でしょうか。私は指導力そして心と体の健康ではないかと思っております。今この330-A地区に求められるもの、それは心の健康こそ求められるものであるというような気がいたしております。幸いにしてライオン河合悦子は心と体の健康に本当に恵まれていると思っております。私は持てるパワーの全てを傾注してライオンズクラブの為にそして皆様の為に奉仕をすることを誓います。愛・協調・感謝・明るく楽しく大きな奉仕の輪。それは世界にも繋がる大きな大きな輪として皆様と共に作り上げたいと思っております。どうぞ私に暖かいご理解とご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

L河合悦子候補者の推薦者 L高橋芳子の推薦の言葉は以下のとおりである。

(推薦者 L高橋芳子)

皆様おはようございます。私は東京みやこライオンズクラブ所属の高橋芳子でございます。日本で初めて東京ライオンズクラブが結成されてから半世紀が過ぎ、この伝統ある330-A地区から初めての女性の次期副地区ガバナーにL河合悦子が立候補いたしました。

私は河合悦子と22年前ライオンズクラブで始めて出会い長きに渡り共にライオンズ活動を続けてまいりました、もっとも信頼できる同志であります。L河合悦子は教職にあった時代から青少年の健全な育成をライフワークに、更にライオンズクラブではYE事業の一環として来日生・派遣生を本当の我が子のよう、又我が子以上に慈しみ育てまいりました。今も彼や彼女たちとの文通・メール交換によりその後の交流を続けております。河合悦子は女性として母として優しい心を小さな体に秘め、大きなパワーでこの日本の未来を担う青少年の為に、そしてライオンズクラブの社会奉仕事業に強い思いをもって残された人生を捧げる所存でございます。河合悦子は人を傷つける事も無く正々堂々と選挙戦を戦ってまいりました。常に社会奉仕に強い意志を持ってライオンズの為に頑張っておりますので代議員の皆様のご理解をいただき、暖かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げましてご挨拶に代えさせていただきます。

司会者より、2候補者の所信表明は終了した旨の報告が為された。

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 大谷内市五郎より、投票会場、投票用紙の引換、記入方法等の投票方法について説明が為された他、選挙を厳正かつ公平に行う為、投票終了後は議案集 5 頁記載第 6 項(ト)に定められた者以外開票場への立ち入りは禁止される旨の説明が為された。

(投票開始宣言)

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 大谷内市五郎より、2006 年～2007 年度 3 3 0 - A 地区副地区ガバナー選出の投票開始宣言が為された。

10. 各分科会会場の説明

大会副幹事 L 浅野美知郎より、各分科会の会場の案内が以下のとおり為された。

- ① 政策・会則・長期計画・建設計画分科会⇒2 階・マグノリアホール
- ② 経理・会計処理分科会⇒11 階・高砂
- ③ 会員・エクステンション・IT・PR 分科会⇒1 1 階・末広
- ④ 国際大会・緊急援助分科会⇒11 階・ピオニー
- ⑤ アクティビティ I 分科会⇒2 階・サンフラワーホール
- ⑥ アクティビティ II 分科会⇒3 階・ゴールデンカップ
- ⑦ アクティビティ III 分科会⇒3 階・紅梅

また大会副幹事 L 浅野美知郎より、その他各会場までの案内、各分科会の開催時間、各分科会の決議等の報告、代議員会の再開時間等について説明が為された。

11. 次期副地区ガバナー選挙投票

この後、各分科会ごとに移動し、時期副地区ガバナーの選挙投票が行われた。

(投票終了宣言)

投票終了後、大会副幹事 L 小島勝利より、全ての出席代議員による次期副地区ガバナー選挙の投票が終了したことの宣言が為された。

(分科会審議)

分科会における決議及びシンポジウムの内容は後記のとおりである。

13. 再開

(再開宣言)

議長より代議員会を再開する旨の宣言が為された。

資格審査委員長 L 梶原正和より、合計代議員数は 525 名であったが、追加登録代議員数は 26 名であることを確認し、その結果出席代議員数は 551 名となった旨の報告が為された。

14. 次期地区大会開催地およびホストクラブ発表

ガバナーエレクト L 森山勇より、次期年次大会開催地は東京、ホストクラブは現在の第 20 リジョン内クラブとする旨の発表が為された。

15. 次期副地区ガバナー選出の件

地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員長 L 大谷内市五郎より、2006 年～2007 年度 330-A 地区副地区ガバナー選出の為の選挙結果が以下のとおり報告された。

代議員総数 551 名

投票総数 522 票

有効票数 522 票

内白紙票数 3 票

無効票数 0 票

投票棄権票数 0 票

東京荒川ライオンズクラブ L 飯田善彦 264 票

東京みやこライオンズクラブ L 河合悦子 255 票

よって、地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会は、東京荒川ライオンズクラブ所属 L 飯田善彦を当選者とする。

議長より、東京荒川ライオンズクラブ所属 L 飯田善彦が次期副地区ガバナー

に選出されたことが発表された。

副地区ガバナー予定者 L 飯田善彦より以下の挨拶が為された。

(副地区ガバナー予定者 L 飯田善彦)

皆さん、本当にありがとうございました。私は改革を前にライオンズクラブを若き力で改革をモットーにやっていきたいと思えます。ご支援・ご鞭撻の程をよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

16. 各委員会・分科会報告および決議

決議委員長 L 松永清より、決議委員会・分科会の結果については各分科会の審議報告を各分科会委員長からの報告としたいとの申出があり、議長はこれを了承した。

(政策・会則・長期計画・建設計画分科会委員長 L 安王錫)

政策・会則・長期計画・建設計画分科会のご報告を申し上げます。

代議員の出席者数は 132 名でございます。ガバナー提案は 3 つございました。1 つずつ順を追って報告してまいります。

ライオンズ総合事務所の設置を下記団体と協議し、推進する件。という事で 1 番目の提案をいただいております。この件につきましては、本件は、原案通り承認可決され、ライオンズ総合事務所の設置につき協議、推進することになりました。

次に 2 番目であります。330-A 地区内各クラブの活性化とアクティビティの充実を計るため、少人数クラブの合併統廃合等を行い、リジョン・ゾーンの再編をなすための計画案の検討を行う件。ということで 2 つ目が出ております。この件に関しましては、本件は、「330-A 地区内各クラブの活性化とアクティビティの充実を計るため、少人数クラブの合併統廃合を視野に入れてリジョン、ゾーンの再編をなすための計画案の検討を行う」と修正して承認可決されました。

次に 3 つ目でございます。「副地区ガバナー選出に関する基本規定」を廃止する件。本件は、原案通り承認可決され、「副地区ガバナー選出に関する基本規

定」は、廃止されました。以上でございます。

(経理・会計処理分科会委員長 L 小林宗正)

経理・会計処理分科会の報告をいたします。

議案集 22 頁 1 号議案から 8 号議案は全て原案通り承認・可決されました。

但し、2 号議案の内 YE 委員会の中島期から山浦期への繰越金については、本年度第 4 回キャビネット会議にてご報告申し上げます。以上でございます。ありがとうございました。

(国際大会・緊急援助分科会委員長 L 宮島宏)

国際大会・緊急援助分科会からご報告申し上げます。

今回はシンポジウムで「国際大会に参加し投票することの意味」という事で、菅原雅雄元ガバナーを顧問にいただきましてお話を聞き、それからお互いに質問をしながら和気藹々で行いました。投票権の権利だけは上手く使うと国際大会でも半数以上を日本だけで占めることが理論上は判りましたので、非常に面白いことだなと思いました。以上です。

(会員・エクステンション・IT・PR 分科会委員長 L 佐竹庄)

会員・エクステンション・IT・PR 分科会のご報告を申し上げます。代議員数 71 名でございます。

1 番目「2006-2007 年度 330-A 地区アクティビティスローガン決定」の件でございます。7 件の提案がございました。議案集 23 ページに載っておりますのでご参照いただきたいと思います。その中で、7 番目の「心と汗で誠の奉仕」これは東京立川ライオンズクラブさんからの提案でございます。

「心と汗で誠の奉仕」に全員一致で決定いたしました。

2 番目のシンポジウムでございます。「若手会員の育成の取り組み方」。現在、ライオンズクラブのみならず、会員減少で大変苦戦しているところがございます。その中で会員・指導力育成委員会委員長の若尾迪治ライオン、エクステンション・リテンション委員会委員長の吉田實ライオンよりこの趣旨が話されました。その中でやはり、都心部と郊外のクラブで違いが出ていると、特に都心

部につきましてはなかなか若い方の入会が少ないという意見がございまして、山岡ライオン・水上ライオンより貴重なご意見をいただきました。今後若手の会員の育成、又会員増強に努めていくというようなことでもございました。

テーマ②でございます。「ライオンズクラブにおける IT 推進の必要性」これも大変重要な課題でございまして、インターネットを通しましてグローバル化した世界各国とのいろいろな PR、あるいは情報交換をしていこうということでございました。その中、秋川ライオンズクラブの土井ライオンからはルーマニアのライオンズクラブとのいろいろなアクティビティのやり方をインターネットを通して得られたと貴重なご意見もございました。又、中島洋吉顧問・荘ライオンよりもライオン誌に関して、大変有効な読み方をしていただきたいというような貴重なご意見をいただきまして全体的に有意義な委員会・分科会を行わせていただきました。ありがとうございました。

(アクティビティ I 分科会委員長 L 田倉仁)

アクティビティ I 分科会について発表いたします。

当分科会では環境保全・高齢者・障害者福祉・LCIF・CSFII・国際協調の分野での議題でございます。シンポジウムによりまして2つのテーマを討議いたしました。

まず初めに「環境問題のアクティビティプログラム」につきましのシンポジウムでございます。現在、地球環境は悪化の一途を辿っており、国レベルでの対応が急がれています。一人一人が環境問題への関心を高め保全活動の第一歩です。環境問題は時代の要であり、速やかな対応が求められている中で、ライオンズの奉仕活動の核に据え長期に取り組む課題です。今後330-A地区として常設委員会を継続した取り組みを行うことを決議いたします。

つづいてテーマ②でございます。「LCIF・CSFII（2005～2008）に対する取り組み方」。CSFIIについては330-A地区の今期目標8,000万に対し現在約5,000万を達成しております。更に目標達成のため努力いたしますが、各クラブにおいてはチャリティゴルフ・コンサート・周年行事の記念事業として取り組みを行うことで目標を達成すべく活動を行うことを検討し取り組み、来期も引き続き目標達成のため努力する事を決議します。以上でございます。

(アクティビティⅡ分科会委員長 L 矢部正二)

アクティビティⅡ分科会の L 矢部正二でございます。

私共のシンポジウムのテーマは「薬物乱用防止活動に関する今後の課題」、2番目は「ライオンズクエストのアクティビティプログラム」ということで、新妻義次薬物乱用防止委員会委員長と青少年レオ育成ライオンズクエスト委員会佐々木富也委員長の両委員長より説明をいただき、メンバーからはいろんな質問がございましたが予定の1時間で終了することができました。以上報告を終わります。ありがとうございました。

(アクティビティⅢ分科会委員長 L 岩丸玉三)

アクティビティⅢ分科会の分科会の報告をいたします。

アクティビティⅢ分科会の指名代議員は66名でしたが本日の参加者は61名であり出席率は93%でした。

本分科会はシンポジウムでテーマ①「エイズに関するアクティビティ」。これにつきましては時間の関係で割愛させていただきました。

テーマ②「骨髄移植・献眼・献腎のアクティビティ」につきましては、本日東京都赤十字社の血液センターの高梨美乃子先生をお招きして「臍帯血移植の現状について」大変有意義なシンポジウムでした。

尚、本日当ホテルの前におきまして駐車場で献血と骨髄移植ドナーの登録をお願いしております。時間の都合のつく方は是非、ご協力お願いしたいと思います。以上でアクティビティⅢ分科会の報告を終わります。

議長より、一括方式により各分科会の決議・報告内容について承認の拍手をお願いする旨諮ったところ拍手多数により決議・報告内容は全て承認された。

17. 閉会

(閉会宣言)

議長より、以上で各議案審議全てを終了し、これをもってライオンズクラブ国際協会330-A地区第52回年次大会代議員総会を終了する旨の閉会宣言が為された。